

## 教育DXレポート

# 「トラブル対応だけではもったいない？ ICT支援員によって広がる活用の幅」

ICT機器の利活用を支援するICT支援員。活用が本格化する中、需要が高まっていますが、機器の利活用と一言で言っても目的は様々です。ICT支援員の導入を考えるのであれば、目的と用途に合わせた人材を選ぶ必要が出てきます。今回は簡単なポイントを紹介していきます。

## 支援員活躍の場面



ICT支援員の中でも一般的な業務は機器トラブルの対応です。生徒一人一人が持つ端末は精密機器。数の差はありますが、故障やトラブルは避けられません。機器自体の問題からソフトウェアの問題まで、切り分けにも時間がかかります。そんなときにICT支援員がいればサポートを任せることで先生にも余裕が生まれます。こうしたトラブル対応の他、ICT機器の利用方法などの説明も多く、機器全般のサポートという立場の支援員も多いのではないのでしょうか。この形での支援員は主に先生の負担軽減、時間効率の改善につながります。機器の対応で手いっぱいということがあればこのタイプの検討が勧められます。

ICTが導入から活用の段階に入ってきた中、ある程度機器の利用に慣れるとさらにその先、どのようにICTを活かすかという課題に直面するかと思われます。授業や校務でのICT活用、そのためのサポートを目的にICT支援員を導入することで解決するかもしれません。機器知識だけでは難しいこともあり、人材に要求するレベルは高くなりますが、どのように利活用するかビジョンが中々決まらない状態であればこういった支援員を検討してみてもいいかもしれません。

## 用途に応じた支援員派遣



ICT支援員といってもスキルは様々です。豊富なスキルを持つ人材であれば様々な事柄に対応できますが、そうした人材は限られます。業務をこなしていくことでスキルが向上することもあります。支援員の性質上、それを待つことも難しいでしょう。現状、そういった課題の解決策として人材派遣という形でICT支援員の派遣が一つ考えられます。ICT支援員派遣であれば、トラブル対応で支援員個人で対応が難しい場合も、派遣元に情報を共有することで解決策を見出すことができます。また、ICT支援員を多数派遣することでその知見が集約されていることもあり、幅広い対応が期待できます。スキルについても複数校を経験することが容易なため、学校の望む水準を期待できます。個人で何でもできる人材の獲得は難しくとも、こうした形で様々な問題に対応できる支援員を用意することができます。また、必要に応じて欲しい人材を相談することができるため、普通に募集をかけるよりの確な人材が見つかる可能性もあります。ぜひ一度ICT支援員の派遣についてご検討してみてください。

コアネットでは機器の導入、活用についての相談からICT支援員についてのご相談まで承っております。また、ICT支援員に関するセミナーを実施いたします。実際に現場で働くICT支援員の方にもご登壇をいただきます。裏面の詳細をご覧ください、ご興味があれば是非お申し込みください。

教育ICT環境整備セミナー第二弾

# 学校全体で取り組む教育ICT運用のコツ ～先進校の運用事例とICT支援員の役割～



7/4 火  
18:00～19:30

### 対 象

管理職の先生方、ICT担当の教職員の方、  
事務職員の方など

### 費 用

無料

### 費 用

アプローズタワー 阪急大阪梅田駅（茶屋町口）より徒歩約6分  
Zoomによるオンラインライブ配信会場参加型とオンラインライブ配信から選べます

### 講 師（第1部）

岡田 育也

コアネット教育総合研究所 新教育推進室 副室長

### 講 師（第1部）

上野 雅史

株式会社KDC ICT 支援員

藤澤 憲人

コアネット教育総合研究所 神戸研究室

FAXでのお問い合わせはこちら

# FAX:045-914-3015

学校名	
ご担当者氏名	(お役職) (ご氏名)
ご連絡先 TEL	
ご連絡先 E-mail	

お問い合わせはこちら

住所 〒224-0003  
横浜市都筑区中川中央1-26-10

TEL 045-914-3005  
(担当：岡田、川田)

E-mail info@core-net.net

ICT活用に役立つ情報公開中

URL [www.core-net.net/ict/](http://www.core-net.net/ict/)

教育と学校経営専門のシンクタンク&コンサルティング企業



コアネット教育総合研究所

